

# 情報読書スキルトレーニング

～さまざまな読書スキルを身につける～

1年 現代の国語  
「伝えること、  
受け止めること」

ねらい

- 「あらし読み」を通して、捜読 Scanning・掬読 Skimming・限読 Timed Reading・要約 Summarizing といった情報収集のための読書スキルを体感する。
- 「書く・話す・聞く」という作業を入れ込み、内容理解を深めるとともに、読書が苦手な生徒にも取り組みやすくする。
- ジャパンナレッジ for school 内「岩波ジュニア新書セレクト 100」を活用し、さらなる読書の世界へ繋げる。

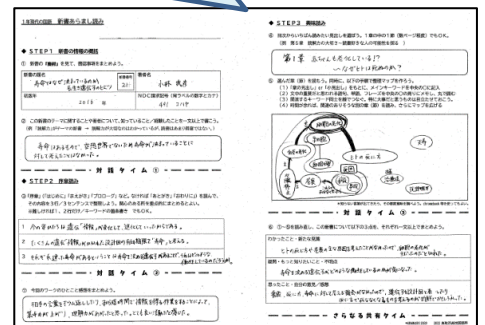
## 学習展開

- ① ジャパンナレッジ for school 「岩波ジュニア新書セレクト 100」より40冊の新書を抜粋し、紙媒体の新書を一人1冊配布。
  - ② 【新書の情報の概括】「奥付」を見て書誌事項を、「書名／著者名」を見て生徒がタイトルのテーマや著者について知っていることを、それぞれワークシートに記入。  
【→対話タイム】
  - ③ 【序章読み】新書の序章だけを読み、内容を3行／3文でワークシートに記入。【→対話タイム】
  - ④ 【興味読み】目次を見て、最も読みたい見出しを選び、ワークシートに転記。1章の中の1節だけでも可。
  - ⑤ 選んだ章（節）を読み、ワークシートに整理マップを記入。【→対話タイム】
  - ⑥ 【まとめ】①～③の記述を読み返し、読んだ新書について「わかったこと」「もっと知りたいこと」「自分の意見・感想」を、それぞれ1文以上でワークシートにまとめる。
- ◆ 授業内で読めなかった箇所および他の新書について、ジャパンナレッジを活用しての読書を促す。
- ◆ 二人一組の「対話タイム」では、自分の記述した内容を〈口頭で伝え〉、もう一方が聞いた内容を〈オウム返し backtracking〉する作業を交互に行う。

授業の様子（「対話タイム」）



授業で使ったワークシート（生徒記入例）



### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭はガイダンス等で新書についての情報を示す。
- 学校司書は担当教員の抜粋した新書を準備し、生徒の活動を支援する。

### ★指導のポイント

- ◆ 通読ではなく、「要点をすくう」「記録を残す」「内容を話す／聴く」といった作業に集中することで、情報を俯瞰するスキルの重要性を示す。
- ◆ 評価はワークシート単独では行わず、活動全体の様子を確認する。

### 資料

- ・ 岩波ジュニア新書40冊
- ・ あらし読み推進会(2021)「『あらし読み』〈探究〉の入口となる新・読書術」  
<https://www.aramashi.online/>